

京都女子大学

発達教育学部紀要

第 22 号

令和 8 年 3 月

荒川恵子・ガハプカ奈美・松田幸恵：幼大連携のこどもコンサートについての一考察 —「第2回 京女こどもコンサート」を対象として— ……	1
表 真 美：学校清掃の実態と実施者の意識—全国の18歳から70歳代までの 600名、および兵庫県の小学生80名を対象とした アンケートを元に— ……	13
ガハプカ奈美・柳澤 藍：DUMISTEによる体験ワークショップの実践と教育的 効果—呼吸・身体・音楽の統合によるインクルーシブ教育の 可能性— ……	25
齊 藤 和 貴：生活科の授業実践における学級通信の有用性 —第1学年担任A先生の事例を通して— ……	37
玉村公二彦・落合利佳・滝川国芳・竹内 香：進行性筋ジストロフィー児の発達と 教育実践に関する歴史的検討（その2）—国立療養所宇多野 病院・筋ジス病棟院内学級での教育実践の開始と展開— ……	49
仲 井 勝 巳：カンボジアにおける日本型理科教育の試み —シェムリアップ州・コンボンチャム州・タケオ州の 教員養成校に着目して— ……	61
仲井勝巳・大内田真理・辻 誠：幼児の「環境」と児童の「生活科」における 幼小接続に関する研究 —糸電話の制作・遊び活動を通して— ……	71
中村光則・松岡 靖：国際バカロレア小・中・高の社会系教科における段階性と ESDの視点を踏まえた小学校社会科の授業開発 —第4学年「持続可能なまちづくり」の場合— ……	83
那須和歌・落合利佳：TRPGのソーシャルスキルトレーニングへの応用 —低学年HFASD児対応TRPG「ぼうけんクエスト」 試作版の開発— ……	93
西本有里・瀬々倉玉奈：聞こえづらさのある乳幼児期の親子と字幕の意義 —オンライン支援プログラムの実践と当事者アンケートの 研究— ……	107
水戸部 修 治：「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指す 小学校国語科授業の実証的検討—「読むこと」における 低学年の「構造と内容の把握」を中心に— ……	119
矢野 真・田爪宏二・吉津晶子：地域連携を通じた SDGs教材作成のための木育 ……	131
令和7年度公開講座 ……	143

令和7年度 公開講座

◆教育学科公開講座 2025年8月2日(土) 13:00~16:00 於:B501 教室
未来を創る子どもを育てる - 探究学習を通して

講演1 13:05~14:30 自立・自律した学習者を育てる

講師 瀬戸SOLAN小学校副校長

三宅 貴久子 氏

講演2 14:45~15:35 地域や保護者とともに探究する子どもを育てる

講師 本学 教育学科教授

村井 尚子 氏

ディスカッション 15:35~16:00

司会 本学 教育学科教授

森 久佳 氏

『発達教育学部紀要』投稿規程

(目的と刊行頻度)

第1条 本誌は、京都女子大学発達教育学部の研究活動、及びそれに関連する情報を発表することを目的とし、年一回発行する。

(編集委員会)

第2条 紀要編集委員会(以下、「編集委員会」という。)は、学部長が本学部の教員組織における専門領域の編成を考慮して、学部の専任教員の中から委嘱する4名の委員をもって構成する。

2 本誌の編集及び発行に関して必要な事項は、編集委員会が定める。

(投稿内容等)

第3条 本誌が投稿を受け付ける執筆内容は、発達教育学部の諸領域に関する研究論文、研究報告、評論、書評、及び紀要編集委員会が適当と認めたその他のもの(以下、「論文等」という。)とし、未公開のものに限る。このほかに、編集委員会の指示により、本学部の教育研究活動に関する情報等を掲載する。

(投稿本数)

第4条 著者として投稿できる論文等の本数は、単著論文と共著論文を合わせて、本誌1号につき原則として2本を上限とする。

(投稿資格)

第5条 本誌への投稿資格は次のとおりとする。

- (1) 京都女子大学発達教育学部専任教員。
- (2) 上記専任教員を論文の共著者とした研究分担者。
- (3) その他、編集委員会が特に認めた者。

(投稿方法)

第6条 本誌に投稿を希望する者は、編集委員会が定めるところに従い、論文原稿及び関連する書類を提出しなければならない。

(執筆代表者)

第7条 投稿に際しては、執筆者のうち1名を、執筆代表者とする。ただし、原則として本学の専任教員とする。

2 執筆代表者は、編集委員会または実務担当者からの連絡等に対応することとする。

(投稿原稿の作成)

第8条 投稿原稿は、編集委員会が別に定めた「『発達教育学部紀要』執筆の手引き」に従って作成しなければならない。

(審査)

第9条 執筆者は、論文等の原稿提出に先立って、同一もしくは関連領域を専門とする研究者の校閲を経ることとする。

(研究倫理)

第10条 論文等を本誌に掲載するにあたり、執筆者は他者の著作権等を尊重しなければならない。そのため必要な手続きは、執筆者が自ら行うこととする。

(投稿の採否)

第11条 投稿された論文等の採否は、編集委員会によって決定する。

(抜き刷りの提供)

第12条 掲載が認められた論文等の執筆代表者には、当該論文等の抜き刷り30部を贈呈する。それを超

える部数は実費負担とする。

(情報公開と著作権)

第13条 本誌に掲載された論文等は、原則として「京都女子大学学術情報リポジトリ」で公開する。

2 執筆者は、本誌に掲載された論文等の著作権のうち、複製権及び公衆送信権を京都女子大学に許諾する。ただし、これらの許諾は取り消すことができる。

(本規程の取り扱い)

第14条 本規程の取り扱いは、発達教育学部紀要編集委員会が行う。

附 則

この規程は、平成26年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、平成31年4月1日より施行する。

附 則

この規程は、令和6年4月1日より施行する。

編 集 委 員

委員長 黒田 義道

委 員 落合 利佳 佐藤 岳晶 仲井 勝巳 (五十音順)

京都女子大学

発達教育学部紀要 第 22 号

2026 (令和 8) 年 2 月 27 日 印刷

2026 (令和 8) 年 3 月 1 日 発行

編 集 京都女子大学発達教育学部紀要編集委員会

発 行 京都女子大学発達教育学部

〒605-8501 京都市東山区今熊野北日吉町35番地

印 刷 山代印刷株式会社

BULLETIN OF THE FACULTY OF HUMAN DEVELOPMENT AND EDUCATION

No.22 March, 2026

CONTENTS

Keiko ARAKAWA, Nami GAHABKA, Yukie MATSUDA: A Consideration on the Child Concerts in Collaboration between Kindergarten and University —Focusing on the “2nd Children’s Concert by Kyoto Women’s University”	1
Mami OMOTE: The Current State of School Cleaning by Students and the Awareness of Those who have Cleaned Schools: Based on a Survey of 600 People Nationwide Aged 18 to 70, and 80 Elementary School Students in Hyogo Prefecture	13
Nami GAHABKA, Ai YANAGISAWA: Educational Impact of DUMISTE Experiential Workshops: Developing a Breath-Body-Music Integrated Model for Inclusive Education	25
Kazutaka SAITOH: The Educational Value of Class Newsletters in Life Environment Studies: A Case Study of First-Grade Homeroom Teacher A	37
Kunihiko TAMAMURA, Rika OCHIAI, Kuniyoshi TAKIGAWA, Kaori TAKEUCHI: A Historical Study on the Development and Education of Children with Progressive Muscular Dystrophy (Part 2): Focusing on Educational Practice of Special Classes in the Muscular Dystrophy Ward at the National Sanatorium Utano Hospital	49
Katsumi NAKAI: Introducing Japanese-Style Science Education in Cambodia: A Case Study of Teacher Training Colleges in Siem Reap, Kampong Cham, and Takeo	61
Katsumi NAKAI, Mari OUCHIDA, Makoto TSUJI: A Study on the Transition from Early Childhood Education to Elementary School through ‘Environment’ and ‘Life Studies’: Focusing on the Making and Play Activities with String Telephones	71
Mitsunori NAKAMURA, Yasushi MATSUOKA: Development of Elementary Social Studies Lessons Based on the Progression of Social Studies Subjects in the International Baccalaureate Primary, Middle, and Diploma Programs and the Perspective of ESD —the Case of Grade 4: ‘Sustainable City Development’—	83
Nodoka NASU, Rika OCHIAI: Applying Tabletop Role-Playing Games to Social Skills Training: Development of a Prototype TRPG for Lower Elementary School Children with High-Functioning Autism Spectrum Disorder (HFASD)	93
Yuri NISHIMOTO, Tamana SESEKURA: What is the Significance of Captioning for Infants and Parents with Hearing Difficulties?: A Study on the Practice of Online Support Programs	107
Shuji MITOBE: An Empirical Study on Elementary School Japanese Language Classes Aiming to Achieve “Individual Optimal Learning” and “Collaborative Learning”: Focusing on Lower Grades’ Comprehension of Structure and Content in “Reading”	119
Makoto YANO, Hirotsugu TAZUME, Masako YOSHIZU: Mokuiku for Creating SDGs Teaching Materials Through Regional Collaboration	131
<hr/>	
Faculty of Human Development and Education Open Lecture 2025	143